

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

2025年度 事業報告

1. 重点方針

- (1) 会員校教員・学生および実習指導者等の実践現場へ向けた各種事業を展開しつつ、全国的に福祉人材の確保が困難となっている現状を踏まえ、特に、会員校の入学者確保に資する事業等を実施する。
- (2) 本連盟の持続可能性を確保するため、組織としての企画立案・業務遂行機能を強化し収益力を向上させる。
- (3) その他、政府による福祉政策等の動向を注視し、地方創生施策や地域間格差(都市部と地方部の格差)への対応等を含め事業を展開する。

2. 法人運営

(1) 総会の開催

① 2025年度通常総会

日時：2025年5月31日(土)13:00～14:41

方法：書面表決による出席により開催。

議案説明および質疑は本連盟事務局から zoom ミーティングにより双方向のオンラインライブ配信で実施。

出席者：正会員 245校のうち、書面表決 235校

議案：第1号議案：2024年度事業報告及び決算(案)について

第1号議案関連：2024年度監査報告

第2号議案：役員の選任について

(2) 理事会の開催

① 2025年度第1回理事会

日時：2025年5月11日(日)10:00～11:40(zoomによるリモート開催)

出席者：理事11人、監事3人、相談役1人

議案・報告事項：

第1号議案：2024年度事業報告(案)について

第2号議案：2024年度決算(案)について

第1号及び第2号議案関連：2024年度監査報告

第3号議案：第13期役員候補者選考に係る委員会の設置および選考の基本方針について

第4号議案：第13期役員候補者について

第5号議案：2025年度通常総会について

第6号議案：一般財団法人日本ソーシャルワークセンター理事候補者推薦について

報告1：「『2024年度以降の事業運営の見直しに関する基本方針と具体的取り組みについて』に基づく結果と今後の課題について」の一部修正について

報告2：2025年度厚生労働省補助事業、こども家庭庁補助事業、文部科学省委託事業の申請について

報告3：本連盟会員校数について

報告 4 : その他

②2025年度臨時理事会

日時 : 2025年 5 月31日 (土) 13:51~14:09 (対面及びzoomによるリモート開催)

出席者 : 理事12人、監事 2 人

議事次第 :

議事録署人の選任

第13期日本ソーシャルワーク教育学校連盟 役員における役職選考

相談役の選任

③2025年度第2回理事会

日時 : 2025年 7 月 1 日 (火) 10:00~10:49 (zoomによるリモート開催)

出席者 : 理事 9 人、監事 1 人、相談役 1 人

議案・報告事項 :

第 1 号議案 : 附帯決議事項による理事の選任について

第 2 号議案 : 第13期役員体制について

第 3 号議案 : 2025年度第二次補正予算(案)について

第 4 号議案 : 日本ソーシャルワークセンターへの役員派遣について

報告 1 : 「全国社会福祉教育セミナー2025」の開催について

報告 2 : ブロック運営委員長会議について

報告 3 : その他

④2025年度第3回理事会

日時 : 2026年 3 月27日 (金) 15:00~17:00 (zoomによるリモート開催)

出席者 : 理事11人、監事 2 人、相談役 1 人

議案・報告事項 :

第 1 号議案 : 令和 7 (2025) 年度補正予算(第三次補正・案)

第 2 号議案 : 令和 8 (2026) 年度事業計画(案)

・ 関連説明 : インターンシップ・キャリア形成支援情報基盤整備事業(案)

・ 関連説明 : ソーシャルワーク国際研究所(仮称)の設置(案)

第 3 号議案 : 本連盟定款の変更(案) (事業者会員の創設について)

第 4 号議案 : 事業者会員の創設に伴う会員の入会及び退会等に関する規則の改正(案)

第 5 号議案 : 令和 8 (2026) 年度予算(案)

第 6 号議案 : 特定資産「公益目的事業基金」の取り崩しについて

第 7 号議案 : 諸規定の制定及び改正

① : 就業規則の改正(案)

② : 情報管理規程の制定(案)

③ : 給与規程の改正(案)

④ : 役員規程の制定(案)

⑤ : 職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定(案)

報告 1 : 令和 7 (2025) 年度事業の進捗状況について

報告 2 : 令和 8 (2026) 年 4 月 1 日付事務局人事の方針について

(3) 書面による理事会の開催

回	日付	議題
第1回	書類発送日：2025年5月12日 ／締切日：2025年5月15日	2025年度第1次補正予算案について
第2回	書類発送日：2025年7月24日 ／締切日：2025年8月7日	スクールソーシャルワーク教育課程認定事業 認定審査結果(案)について
第3回	書類発送日：2025年9月30日 ／締切日：2025年10月9日	スクールソーシャルワーク教育課程認定事業 認定審査結果(案)について
第4回	書類発送日：2026年1月5日 ／締切日：2026年1月19日	スクールソーシャルワーク教育課程認定事業 認定審査結果(案)について
第5回	書類発送日：2026年3月27日 ／締切日：2026年3月31日	スクールソーシャルワーク教育課程認定事業 認定審査結果(案)について

(4) 役員候補者選考委員会

日時：2025年5月11日(日) ※理事会を一時中断して開催、結果を理事会へ報告

議題：第13期役員候補者の選考について

(5) ブロック運営委員長会議

日時：2025年7月25日(金) 18:00～19:35

方法：zoomによるオンライン会議

議題：

- ・2024年度ブロック活動報告と2025年度のブロック活動について
- ・ブロック活動のあり方について
- ・ブロック活動費執行要領(2025年度版)について

出席者：東北ブロック 三浦剛(東北福祉大学)、関東甲信越ブロック 船水浩行(東海大学)、東海北陸ブロック 大藪元康(中部学院大学)、近畿ブロック 廣野俊輔(同志社大学)、大西敏浩(四天王寺大学)、中国四国ブロック 松宮透高(県立広島大学)、九州沖縄ブロック 中村秀郷(西南学院大学)、名城健二(沖縄大学、常務理事)、伊藤新一郎(北星学園大学、常務理事・事務局長・司会)、事務局

(6) 会長・副会長・常務理事による業務執行理事会

回	日付
第1回	2025年4月23日
第2回	2025年5月8日
第3回	2025年6月19日
第4回	2025年9月29日
第5回	2026年2月21日
第6回	2026年2月27日

(7) プロジェクトチーム(以下、PT)等

- ① ソーシャルワーク教育のエデュケーショナルポリシーとソーシャルワーク専門職のコンピテンシーの検討PT

プロジェクトチームで検討の実施及び全国社会福祉教育セミナーでワークショップ「ソーシャルワーク教育のエデュケーショナルポリシー策定に向けて(中間報告)」を開催(進

行：渡辺裕一、報告：南野奈津子))

②子ども家庭ソーシャルワーク認定資格にかかるPT

2024年度に引き続き子ども家庭ソーシャルワークに関する養成(スクールソーシャルワーク教育課程との関係を含む)の検討を行うとともに、会員校に意向等のアンケートを実施(2025年11月25日～12月24日、回答数141件)。

③災害対応部会

ソーシャルワーク教育における災害時の教育機会保障・教育資源の確保及び災害時のソーシャルワーク支援のあり方などについて、会員校への情報収集・提供等とともに、2024年1月に発生した令和6年能登半島地震及び9月に同地で発生した土砂災害に関して、被災情報の収集を実施するとともに、先遣隊の派遣及び会員校の学生ボランティアの展開に向けた調整を行い、被災エリアの本連盟会員校のボランティア活動の後方支援として活動への同行や使用物品の貸与等を行った。

(8)倫理審査委員会

3回の倫理審査委員会を開催し、4件の審査を行った。

- ・「社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験進路意向(就職活動等状況)等に関するアンケート及び養成校2025年度卒業学生の実習及び進路等調査」
- ・「厚生労働省令和7年度社会福祉推進事業『社会福祉士養成課程におけるソーシャルワーク実習の標準化と充実等に向けた調査研究』社会福祉士養成校調査(記名調査)」
- ・「同 ソーシャルワーク実習支援システム導入校活用状況調査」
- ・「同 ソーシャルワーク実習実施状況等グループインタビュー調査」

(9)その他

- ・本連盟創設70周年を記念するロゴを作成し、全国社会福祉教育セミナー等で使用した。
- ・法人や事務局の運営にかかる業務、経理業務等を適宜行った。
- ・地域ブロック区分に関する意見募集

開催日程：2026年2月20日(金)～4月30日(木)の間

依頼内容：1. 現行の地域ブロック区分について区分基準を見直す必要性の有無
2. 見直しが必要な場合、どのような区分基準が適当か

3. 事業

(1)教育水準の向上

①社会福祉士・精神保健福祉士実習演習担当教員講習会の企画・実施

厚生労働省令に定められた社会福祉士ならびに精神保健福祉士の養成課程における実習・演習科目担当教員の要件を満たすための認定講習会としてオンデマンド・オンライン形式で実施した。社会福祉士、精神保健福祉士の実習演習科目担当教員の資質向上を目的に開催した。

- ・総受講申込者数：141人(前年度修了者：164人)

名称	開催日	方法	受講者数等
社会福祉士基礎分野講習	2025年7月14日(講義動画視聴開始日)、 2025年7月25日(課題提出日)	講義動画視聴(オンデマンド)および課題提出	受講者：35人 修了者：35人
社会福祉士実習分野講習	2025年8月12日・18日・ 20日・25日	講義：オンデマンド視聴 演習：オンラインライブ	受講者：90人、 修了者：89人

社会福祉士 演習分野講習	2025年8月28・29日・9 月1日・2日	一部講義はオンデマンド 視聴 講義及び演習はオンライ ンライブ	受講者：73人、 修了者：69人
精神保健福祉士 基礎分野講習	2025年7月14日(講義動 画視聴開始日)、 2025年7月25日(課題提 出日)	講義動画視聴(オンデマ ンド)および課題提出	受講者：23人、 修了者：23人
精神保健福祉士 実習分野講習	2025年8月12日・14日・ 15日・16日	講義：オンデマンド視聴 演習：オンラインライブ	受講者：46人、 修了者：45人
精神保健福祉士 演習分野講習	2025年8月28・30・31 日・9月2日	一部講義はオンデマンド 視聴 講義及び演習はオンライ ンライブ	受講者：39人、 修了者：39人

②厚生労働省補助事業

厚生労働省令和7年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(社会福祉推進事業分)は、「社会福祉士養成課程におけるソーシャルワーク実習の標準化と充実等に向けた調査研究」事業について2025年4月28日付をもって採択され実施。3月末日にて事業を終了し厚生労働省への報告が完了している。内容は、養成校における新カリキュラムの実施状況および課題等を、大幅な見直しを行ったソーシャルワーク実習教育に注目して明らかにすることで、今後のソーシャルワーク教育水準の向上に資することを目的に実施した。

- ・全体会議：5回開催／社会福祉士養成校調査チーム；1回開催／SW実習支援システム活用・効果検討チーム：3回開催
- ・調査1：社会福祉士養成校調査／2025年10～11月
- ・調査2：ソーシャルワーク実習支援システム導入校活用状況調査／2025年11～12月
- ・調査3：ソーシャルワーク実習実施状況等グループインタビュー調査／2026年1月30日(金)
- ・調査4：養成校2025年度卒業学生の実習及び進路等調査／2025年10～11月

③文部科学省委託事業

令和7年度いじめ対策・不登校支援等推進事業「いじめ・不登校等の未然防止に向けた魅力ある学校づくりに関する調査研究事業」へ応募し、2025年5月23日付で受託した。小中学校教員の教育相談コーディネーター(教育相談を担当する教員)向けの福祉、ソーシャルワークの基礎知識に関する試行研修を全国の各ブロック1か所ずつ、各府県教委の協力のもと行った。その成果を踏まえて実装に向けた講師養成講習、テキスト・プログラムや運営に関するマニュアル等の検討・作成等を行った。

ア) 試行研修：

- ・実施日：2025年6月6日～8月28日のうち延べ18日間
- ・宮城県、千葉県、山梨県、大阪府、高知県、鹿児島県(6カ所)の教育センター等にて、各3日間実施。
- ・受講者数：延べ474人
- ・対象：小・中・高等学校・特別支援学校教員等

イ) 講師養成講習

- ・方法：zoomによるオンライン開催

- ・実施日：2025年11月30日(日)
- ・受講者：40人

④第54回全国社会福祉教育セミナー2025in石川

- ・テーマ：『福祉人材確保』×『学校経営』×『ソーシャルワーク教育』～縮小社会に対応するための戦略を考える～
- ・日時：2025年12月13日(土) 10:30-17:40、12月14日(日) 10:00-15:10
オプショナルツアー：12月15日(月) 9:00-16:00
- ・会場：学校法人北陸学院 栄光館 グロリアチャペル(北陸学院中学校・高等学校。石川県金沢市飛梅町1-10)
- ・参加者：セミナー:112人(会場参加者:65人、オンライン最大同時視聴数:35人)
- ・オプショナルツアー参加者:15人
- ・プログラム：

ア) 1日目(2025年12月13日(土))

- ・【オープニング】中村和彦(本連盟常務理事・北星学園大学)、堀岡満喜子氏(学校法人北陸学院 理事長・学院長)
- ・【報告1】『本連盟会員校の学生進路意向調査結果の要点』 <報告者>伊藤 新一郎(本連盟常務理事・北星学園大学)
- ・【基調講演】『中央教育審議会答申「我が国の「知の総和」向上の未来像」の要点と今後の高等教育の課題』 講師：森朋子氏(桐蔭横浜大学学長・中央教育審議会委員)
- ・【鼎談】『福祉人材確保×学校経営×高等教育×地方創生の未来を展望する～2040年を見据えて～』 登壇者：森朋子氏(桐蔭横浜大学学長・中央教育審議会委員)、坂井元興氏(内閣府地方創生推進事務局参事官)、中村和彦(本連盟会長・北星学園大学)、聞き手：大原裕介(本連盟理事・社会福祉法人ゆうゆう)
- ・【セッション】『福祉人材確保とソーシャルワーク実習の連動』 登壇者：菊地 月香氏(全国社会福祉法人経営者協議会研修委員長・社会福祉法人 同愛会 理事長)、渋谷哲(本連盟相談役・淑徳大学)、仲井達哉(本連盟理事・川崎医療福祉大学)、中條大輔氏(志學館大学)、司会：名城健二(本連盟常務理事・沖縄大学)

イ) 2日目(2025年12月14日(日))

- ・【ワークショップ】『ソーシャルワーク教育のエデュケーショナルポリシー策定に向けて(中間報告)』 司会：渡辺裕一(本連盟理事・SWEP_PJ・武蔵野大学)、説明：南野奈津子氏(SWEP_PJ・東洋大学)
- ・【報告2】『令和6年の能登半島地震・豪雨災害における北陸学院大学学生の被災地支援状況』 報告者：北陸学院大学学生、モデレータ：田中純一氏(北陸学院大学)、ソ教連災害活動報告：山本克彦氏(本連盟災害対応部会長・日本福祉大学)
- ・【報告3】『ソーシャルワーク実習の充実に向けた令和7年度社会福祉推進事業(厚生労働省補助金事業)の経過報告』 報告者：石附敬氏(事業委員・東北福祉大学)、増田和高氏(事業委員・武庫川女子大学)、司会：高良麻子(本連盟副会長・法政大学)
- ・【クロージング】山野則子(本連盟副会長・大阪公立大学)

ウ) 3日目(2025年12月15日(月))

- ・【オプショナルツアー】「ソ教連会員校の学生が支援活動している奥能登の被災地をバスでめぐり、歩く」行程：金沢駅～輪島市門前町深見地区～門前町道下仮設住宅～金沢駅 ガイド：田中純一氏・山本克彦氏ほか

本セミナーにおいては、本連盟創設70周年記念のロゴを使用した。初の試みとして、会場開催とオンラインライブ配信 (Youtube限定配信) 及び災害被災地である能登地域を巡るオプションツアーを実施した。当日悪天候による交通機関の運行中止・遅延により、一部の登壇者が参集できなくなったため、急遽オンラインでの登壇を調整し開催した。

⑤ユニット研修

全国社会福祉教育セミナーにつながるテーマでユニット型の研修を実施した。

ア) ユニット研修1

- ・名称：「福祉系大学の経営危機を乗り越えるために～2040年を見据えて～」
- ・実施方法：期間限定型オンデマンド配信 (2025年11月20日～3月31日)
- ・参加費：13,200円
- ・申込数：15人
- ・プログラム：「ソーシャルワーク教育を取り巻く現状と課題」講師：中村 和彦(本連盟会長・北星学園大学学長)、「中教審答申『知の総和』を読み込む」講師：森 朋子氏(桐蔭横浜大学学長・中央教育審議会委員)、「令和7年度私立大学・短期大学等入学志願動向から(本連盟会員校の分析を含む)」講師：辻橋 直宏氏(日本私立学校振興・共済事業団)、「ソ教連会員校の状況」講師：伊藤 新一郎(本連盟常務理事・北星学園大学教授)

イ) ユニット研修2

- ・名称：「ソーシャルワーク実習学生を就職に呼び込むには」
- ・実施方法：期間限定型オンデマンド配信 (2025年11月20日～3月31日)
- ・参加費：13,200円
- ・申込数：11人
- ・プログラム：「ソ教連の会員校学生の就職等意向」講師：伊藤 新一郎(本連盟常務理事・北星学園大学教授)、「福祉の就職活動戦線異状あり」話し手：大庭 直子氏(武蔵野大学 社会福祉学科進路相談室キャリアカウンセラー)、窪島 渚氏(武蔵野大学 キャリアセンター)、聞き手：渡辺 裕一氏(武蔵野大学教授)、「実習の受入れと人材確保の現状」講師：菊地 月香氏(全国社会福祉法人経営者協議会研修委員長・社会福祉法人同愛会理事長)、「福祉人材確保の現状とこれから」講師：大原 裕介(本連盟理事・社会福祉法人ゆうゆう理事長・学校法人東日本学園理事)、聞き手：伊藤 新一郎(本連盟常務理事・北星学園大学教授)

⑥災害福祉に関する研修

- ・名称：災害福祉教育ベーシック研修2025—災害福祉の理解を深めるために—
- ・構成：オンデマンド講義30分×4コマ、対面による演習1日
- ・日程：オンデマンド講義：2026年1月～2月、演習：2026年2月9日(月)
- ・講師：山本克彦氏(日本福祉大学)／後藤至功氏(佛教大学)／新井利民氏(立正大学)／篠原 辰二氏(一般社団法人 Wellbe Design)
- ・受講者数：13人

⑦ソーシャルワーク実習担当教員向けアドバンス講習会

- ・日時：2026年3月5日(木)
- ・対象：現在、養成校において社会福祉士のソーシャルワーク実習指導を担当している者
- ・実施方法：オンライン(zoom)
- ・参加費：5,500円

- ・プログラム：「講習会の趣旨と進め方」「全体のまとめ」伊藤新一郎(北星学園大学)、「講義・演習・実習の連動」畑亮輔氏(北星学園大学)、「養成校と実習施設の連携・協働」渡辺裕一氏(武蔵野大学)、「アウトカム基盤型教育としての実習評価と学習成果の可視化」添田正揮氏(日本福祉大学)
- ・受講者数：36人

⑧大学等における障害学生支援の要点と具体的対応 研修

- ・配信期間：2026年3月2日(月)～5月29日(金)(予定)
- ・対象：会員校教員・実習担当教員・実習指導者等
- ・実施方法：事前収録、オンデマンド配信オンライン(zoom)
- ・参加費：13,200円
- ・プログラム：「改正障害者差別解消法と合理的配慮の要点～障害のある学生の修学支援に関する検討会報告を踏まえて～」馬場亮介氏(文部科学省)、「大学等における障害学生支援の現状と課題～体制構築から支援の実際まで～」蒔苗詩歌氏(宮城学院女子大学)、「ソーシャルワーク実習における合理的配慮について考える～理想と現実のギャップをどう埋めるか～」話し手：萬代由希子氏(関西福祉大学)、西村愛氏(新潟県立大学)、聞き手：伊藤新一郎(北星学園大学、本連盟常務理事)
- ・受講者数：32人(2026年3月31日時点)

⑨「スクールソーシャルワーク教育課程認定事業」及び「こども家庭ソーシャルワーク教育課程認定(仮称)」に関する事業

ア)スクールソーシャルワーク教育課程認定事業

- ・認定校数：62校
- ・認定審査委員会：4回(書面開催)
- ・新規設置認定校：1校(日本医療大学・北海道)
- ・スクールソーシャルワーク教育課程修了者数：133人(2025年度。事業通算 1,273人)

イ)スクールソーシャルワーク教育課程専門科目群担当教員講習会

オンデマンド(講義の一部)とオンラインライブにより2日間で実施。

- ・開催日：オンデマンド講義配信：2026年2月19日～3月24日(火)、オンライン開催：2026年3月2日(月)、25日(水)
- ・講師：山野則子(本連盟副会長・大阪公立大学)、奥村賢一氏(福岡県立大学)
- ・受講者数：16人

ウ)スクールソーシャルワーカー基礎研修

山梨県教育委員会からスクールソーシャルワーカー等を対象とする研修事業を受託し、以下のとおり実施した。

- ・名称：スクールソーシャルワーカー養成研修
- ・受講者数：109人(A日程30人、B日程79人)
- ・日程・会場：
 - 【A日程】：2025年11月18日(火)、11月25日(火)／オンライン開催、2025年12月9日(火)／対面開催(山梨県立文学館)
 - 【B日程】：2025年12月～2026年1月 オンデマンド配信、2026年1月16日(金)／対面開催(リッチダイヤモンド総合市民会館)

エ)文部科学省との連携等

文部科学省委託事業関係で適宜連携、情報交換を行った。

オ)こども家庭ソーシャルワーカー認定資格に関する活動等

こどもSSWプロジェクトチームで実施した(再掲)。

⑩実習委員会

会議を2回開催し、教員講習会に関する検討及び2024年度実施したソーシャルワーク実習教育に関する実態調査報告書を作成し、HPにて公表した。また、社会福祉推進事業のプロジェクトチームに委員が参加した。

⑪専門職大学院認証評価事業

認証評価機関として、認証評価機関連絡協議会等に参加した。分野別認証評価機関として、文部科学省より「新たな評価」制度の在り方についての最新の議論の内容の説明と意見交換に参加した。また、最新の検討状況等について回答した。

⑫社会福祉士・精神保健福祉士養成等に関する法改正情報等の会員校への周知

精神保健福祉士養成に係るパブリックコメント等のほか適宜、情報を会員校に周知した。

(2)養成校学生(既卒者含む)への国家試験受験等に関する支援

①ソゼミ2026(2025年度社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験及び社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験集中講座 PointBook講義動画視聴権付き)の制作・販売)

2024年度に実施された第37回社会福祉士国家試験および第27回精神保健福祉士国家試験は、新カリキュラムに基づく試験として実施された。これを受け、局内では試験結果の分析を行い、従来の模試・PointBook・VOD講義動画を単体で提供する形から、複合型教材へと刷新した。さらに、オンラインミニ模試「ミニィモ」を新たに開発し、これらをパッケージ化した商品として「ソゼミ2026」を制作し、販売価格は昨年度と据え置きにて販売を行った。

販売面では、学校担当者に対して学校申込へのフォロー活動を行うとともに、従来の模試ホームページからの販売を強化した。「ミニィモ」を加えることで早期から受験の学習が開始できることを含め、個人申込については、学校担当者からの転送依頼の周知を行い、加えてオンラインショップからも「ソゼミ2026」を購入できるルートを整備することで、既卒者および通信課程の受験生への販売強化を図った。

「ソゼミ2026」の活用方法としては、①模試受験による現状把握、②結果分析による弱点抽出、③PointBook・VOD講義動画・ミニ模試「ミニィモ」を活用した弱点克服、という二段階学習モデルを提案し、他社教材との差別化を図った。また、模擬試験についても、新カリキュラムの国家試験に対応した内容で準備を行った。

制作面では、PointBookの原稿校正をすべて局内で内製化し、レイアウト編集・印刷・製本のみを外注としたことで、対前年比約140万円のコスト削減を実現した。

オンラインミニ模試「ミニィモ」は、本連盟模試7年分の問題データをデータベース化し、スキマ時間で学習できるアプリとして局内で開発した。他社には実現できない独自コンテンツとして、受験生に新たな学習価値を提供することができた。

・「ソゼミ2026」販売数(2026年3月31日時点)：

	模試販売	ショップ販売	合計
ソゼミ社会(A)(共通+社会専門)	4,430	196	4,626
ソゼミ精神(Q)(共通+精神専門)	841	56	897
ソゼミダブル(W)(共通+社会+精神)	688	25	713
ソゼミ社会のみ(C)	65	17	82
ソゼミ精神のみ(P)	343	119	462
合計	6,367	413	6,780

(参考)作成種ごと販売数 共通科目：6,236件、社会専門科目：5,421件、精神専門科

目：2,072件

ア) 全国統一模擬試験

- ・ 申込受付期間：2025年7月1日(火)～9月12日(金)
- ・ 申込方法：学校申込／個人申込※本連盟オンラインショップからの個人申込
- ・ 実施期間：2025年10月1日(水)～11月3日(月・祝)※実施基準日：10月18日(土)・19日(日)
- ・ 実施方法：学校受験／自宅受験
- ・ 実施会員校数：212校(会員校の実施率：86.5%)(前年度185校、77.8%)
- ・ 申込者数(2025年10月締切時点)：6,782人(前年度：7,472人(中央法規分含む))会員校申込者数：6,368人(前年度：7,057人)うち学校受験5,672人、自宅受験 696人

イ) 国家試験受験集中講座 PointBook(講義動画視聴権付き)

- ・ 講座の構成：PointBookと講義動画(オンデマンド)の提供
- ・ 実施科目：共通科目12科目、社会専門科目7科目、精神専門科目6科目、合計25科目(新カリキュラム対応)
- ・ 講座内容：科目別国家試験対策および重点箇所の説明他：1科目×約60分
- ・ 実施方法：PointBookは模擬試験の実施(配布)時に配布を想定し模試実施期間開始と同時に2025年10月1日からオンデマンドで配信。模試問題と同時に配布されるPointBookの解説によりマナブル経由で視聴する。

② 受験対策書籍等の出版

- ・ 編集：「社会福祉士国家試験模擬問題集2026」、「精神保健福祉士国家試験模擬問題集2026」、「社会福祉士国家試験過去問解説集2026および2027」、「精神保健福祉士国家試験過去問解説集2025および2026」(中央法規出版)
- ・ 監修：「2026社会福祉士国家試験過去問一問一答+α」「2026社会福祉士・精神保健福祉士国家試験過去問一問一答+α<共通科目編>」(中央法規出版)
- ・ 「最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座(全29巻)」(中央法規出版)の販売促進及び改訂巻の編集及び刊行(2025年度の改定巻：社会福祉の原理と政策、地域福祉と包括的支援体制、貧困に対する支援、(精神専門)ソーシャルワークの理論と方法、現代の精神保健の課題と支援)

③ 国試受験生応援プロジェクト2025-2026

YouTube、Instagram、LINEとnoteにより、受験生を中心に情報提供を行っている。年度初めの5月から本連盟の国家試験受験対策教材の宣伝、国試70日前からX及びInstagramによる国試過去問一問一答の投稿、LINEによる定期的なメッセージ送付とともに、国試対策関連の動画の撮影とYouTubeでの公開及び生配信実施した。各種SNSを横断的に活用した広報を展開している。

(動画視聴回数は2026年3月31日時点)

動画公開日	動画内容	再生回数(回)
2025/05/01	今年の国試対策は、超お得…!【ソゼミ2026：予告版】	577
2025/06/19	ソゼミ【受験対策集中講座】を試聴してみよう! (※2024年度の動画を一部公開)	437
2025/07/01	ソゼミ2026 新商品のMini imo[ミニイモ]とは	120
2025/09/03	【国試まで150日】国試の申込スタート!どんな手続きが必要なの?【2026年実施試験】	126
2025/09/23	【国試まであと130日】ソ教連のオススメ教材をご紹介します	266
2025/10/01	【教えて!イトシン】2025年度の国家試験をざっくり解説【2026年度版】	311
2025/10/23	【国試100日前】国試応援って何してくれるの?【ソ教連】	113

2025/11/11	【国試80日前】この時期、何したらいいですか！【受験生応援】	126
2025/12/11	【short】【受験に役立つ】書籍紹介	1,663
2025/12/15	【国試50日前】今後の勉強計画の立て方をレクチャー_①順調タイプ	140
2025/12/15	今後の勉強計画の立て方をレクチャー_②ムラタイプ	75
2025/12/15	今後の勉強計画の立て方をレクチャー_③心配タイプ	57
2025/12/24	【short】クリスマスイブはどう過ごす？	299
2025/12/24	今後の勉強計画の立て方をレクチャー_④平均タイプ	111
2026/1/1	【short】あけましておめでとうございます	780
2026/01/28	【ライブ配信・国試直前！】ソワソワしてる人、集まれ～！！(∪・ω・)/一緒に受験準備	1,754
2026/03/03	国家試験合格発表ライブ配信【一緒に結果を見てみよう】	1,425
合計再生回数		8,380

④SNS等による情報提供

- ・YouTube：登録者数：5,900人(2026年3月31日時点) 投稿動画数：28本(受験応援20本・その他ジャンル1本・生放送(アーカイブ)4本・ショート3本)
- ・Instagram：フォロワー：1,081人 投稿：206件(2026年3月31日時点)
- ・X(旧 Twitter)：フォロワー：10,255アカウント(2026年3月31日時点)
- ・LINE：アカウント登録者数：949人(2026年3月31日時点)メッセージ送信回数 8回、延べ送付メッセージ数 7,387件
- ・note(2026年3月31日時点)：36フォロワー、掲載記事 28件

⑤国試関連情報の周知

第38回社会福祉士国家試験・第28回精神保健福祉士国家試験について、会員校の国家試験対策及び指導の参考に資するため、試験終了後直近の営業日に本連盟ホームページへ掲載した。

⑥ふくし就活応援プロジェクト2025

新規動画の撮影・公開は実施せず、過去公開した動画を引き続き公開した。

動画4本の本年度総視聴回数は計429回(2026年3月31日時点)。(現時点での総再生回数：2,618/昨年度時点での総再生回数：2,189)

⑦模擬試験受験者への進路意向調査

「模擬試験自己評価(苦手意識)アンケート・進路意向(就職活動等状況)等に関するアンケート」として、ソゼミ2026全国統一模擬試験受験生を対象とした、国試の可否や受験対策の内容、開始時期などに関するアンケートを実施した(回答数：6,023件(受験者数：6,782人)、実施期間：2025年10月下旬～11月中旬)

⑧国家試験受験者への調査

「第38回社会福祉士・第28回精神保健福祉士国家試験アンケート」を全国統一模擬試験受験生および上記国家試験受験者を対象とした、国試の可否や受験対策の内容、開始時期などに関するアンケートを実施した(2026年3月3日～4月上旬(予定))。

回答数：587件(2026年3月31日時点)

⑨会員校への入学者獲得にむけた高校生等への広報活動

SNSでの情報掲載

- ・15歳からの社会保障・経済支援制度ナビ(SOCIAL CHANGE AGENCY)
- ・高校生・大学生向け返済不要の奨学金制度(独立行政法人日本学生支援機構)

(3) 災害対応及び災害支援に関する教育強化

①令和6年能登半島地震及び豪雨災害への対応

ア) 被災地域の会員校である北陸学院大学と連携した学生ボランティア活動支援

2024年度に引き続き、本連盟災害対応部会が中心となり、被災地域の本連盟会員校や災害支援経験を有する本連盟会員校教員と密な連携を図り、現地での活動や滞在環境のコーディネートを行ったのち実施した。なお、本活動は本連盟および本連盟会員校のボランティア募集の呼びかけに応じ参加した学生が学校の垣根を越えて合同で現地での支援活動を展開する仕組みを構築し実施したものである。

活動日	活動人数	活動内容
4月30日～5月6日	16人(内訳：武蔵野大学7人／DWAS埼玉チーム9人)	もんぜん楓の家の施設周辺の泥出し作業等
8月～9月	70人(内訳：関西福祉大学19人／京都産業大学9人／佛教大学4人・熊本学園大学3人／北九州市立大学6人／埼玉県立大学9人／立正大学20人 ※詳細人数が確認できていませんが、聖学院大学、高崎健康福祉大学も参加されています)	六郎木地区での片付け、もんぜん楓の家の片づけボランティア、輪島夏祭りへの参加、奥能登VCIにて開催された「コミュニティ居酒屋」運営支援、鈴ホースパークでの牧場の業務補助や畑仕事のお手伝い、
12月27日～30日	6人(内訳：立正大学2人／埼玉県立大学2人／熊本学園大学1人／日本社会事業大学1人)	輪島市門前町の仮設住宅にて転倒防止の藁こも敷き等

イ) 被災地域の本連盟会員校・学生ボランティアの活動への車両貸与・資機材提供、貸与北陸学院大学及び本連盟会員校の学生ボランティア活動について、車両及び資機材の貸与等を行って活動支援を継続する仕組みを作り、継続的な支援を展開した。

ウ) 全国社会福祉教育セミナーを石川県で開催し、能登地震・水害への支援を続ける北陸学院大学や本連盟の活動を報告したほか、オプショナルツアーとして能登の支援現地をめぐるツアーを実施した。

②災害活動に関する資金調達

本年度も継続して団体・個人からの協賛を受け、計2,000,000円の資金を調達した。

③災害時の連絡用情報の管理及び活用

災害対応や情報収集・提供のため、会員校に向けて災害対応の教職員の氏名と連絡先の登録に協力を依頼した。現在98%以上の会員校で登録があり、災害発生時の情報収集等に協力いただいている。

(4) 関係団体、啓発、情報提供等

①国際委員会

国際委員会の規定を策定し、委員会活動を実施した。IASSW 及び APASWEと連携し、国際機関への貢献と国際動向に関する情報収集及び国内への普及を行った。

ア) IASSW (国際ソーシャルワーク学校連盟)

日本国代表理事として森恭子氏(日本女子大学)を推薦した。

イ) APASWE (アジア太平洋ソーシャルワーク連盟)

- ・ APASWE 理事会：2025年11月(シンガポール)開催。APASWE会計担当理事が参加した。
- ・ APASWE役員選挙：2025年9月～11月について周知等を行った。

②ロビーイングや情報提供等

国政・国会議員や省庁など関係者に向けて、社会福祉士、精神保健福祉士養成や子ども

家庭福祉、スクールソーシャルワークなどに関連する意見交換や情報提供などを適宜に行うこととし、スクールソーシャルワーカーの活用に関する件として、文部科学省事業を通じて、SSWの常勤化の成果を涵養に務めた。省庁・関係団体への挨拶や情報提供、情報交換等を適宜実施した。

③関係省庁・関係団体との協働

ア)厚生労働省

- ・社会保障審議会福祉部会及び福祉部会福祉人材確保専門委員会に参画し、ヒアリングを受けた。なお、その報告書が「社会保障審議会福祉部会報告書」として、2025年(令和7年)12月18日に公開された。
- ・令和7年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(社会福祉推進事業分)により「社会福祉士養成課程におけるソーシャルワーク実習の標準化と充実等に向けた調査研究」事業を実施している。(再掲)
- ・全国社会福祉教育セミナーで後援名義使用許諾を得た。

イ)文部科学省

- ・いじめ対策・不登校支援等推進事業いじめ・不登校等の未然防止に向けた魅力ある学校づくりに関する調査研究事業の受託を受けた。(再掲)
- ・認証評価機関連絡協議会に参加した。
- ・「大学生等に対する給付型の修学支援」(授業料等減免と給付型奨学金)の周知に協力した。
- ・全国社会福祉教育セミナーで後援名義使用許諾を得た。

ウ)法務省

- ・「第75回“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」及び「保護観察官による更生保護出張講座」について会員校へ周知協力(ポスター・リーフレットの配付含む)・“社会を明るくする運動”中央推進委員会に構成団体として参画した。
- ・全国社会福祉教育セミナーで後援名義使用許諾を得た。

エ)こども家庭庁

- ・全国社会福祉教育セミナーで行政説明及び後援名義使用許諾を得た。
- ・「オレンジリボン・児童虐待防止キャンペーン」、令和7年度「学生よるオレンジリボン運動」「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」標語募集、こどもの虐待防止推進及びヤングケアラーの普及啓発活動への周知協力(ポスター等配布含む)

オ)日本ソーシャルワーカー連盟(JFSW：日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本ソーシャルワーカー協会)

- ・模擬試験事業の後援を受けた。正答・解説集及びPointBookに各団体の広告を掲載した。
- ・JFSW主催のイベントや都道府県のソーシャルワーカーデー、参画団体の全国大会や研修等の周知に協力した。
- ・日本精神保健福祉士協会との実習指導者連携事業の実施、学生会員制度の周知に協力した。
- ・日本精神保健福祉士協会 令和7年度障害者総合支援福祉推進事業「精神科病院等における精神保健福祉士の役割と支援の在り方の検討に資する調査研究」の有識者会議へ理事を派遣した。(茶屋道拓哉 理事(鹿児島国際大学))
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼した。
- ・日本医療ソーシャルワーカー協会が主催する「災害ソーシャルワーク研修」(東京・北

海道・大阪・大分)のオンライン中継に関する事務協力を行った。

カ)全国社会福祉協議会

- ・本連盟理事として、本連盟の運営に関し協力、助言を得た。
- ・全国社会福祉協議会評議員を派遣した。(中村和彦会長)
- ・中央福祉人材センター運営委員会への委員を派遣した。(伊藤新一郎常務理事)
- ・『広がれボランティアの輪』連絡会議に構成団体として参画した。
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼した。

キ)全国社会福祉法人経営者協議会

- ・本連盟理事として、本連盟の運営に関し協力、助言を得た。
- ・模擬試験事業の後援を受け、正答・解説集及びPointBookに各団体の広告を掲載した。
- ・全国社会福祉法人経営者協議会が展開するイベントや動画コンテンツについて、本連盟ホームページへの掲載、会員校へのメール周知、SNSへの投稿等を通じ広報に協力した。
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼した。

ク)福祉系大学経営者協議会

- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼した。

ケ)ソーシャルケアサービス(SCS)研究協議会

- ・全体会議等に参画した。
- ・ソーシャルワーク専門職の社会的認知・地位向上、任用・活用の促進、職域拡大、待遇改善等をはかるために働きかけに協力した。
- ・「地域共生社会推進に向けての福祉専門職支援議員連盟」活動を支援した。
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼した。
- ・事務局業務の移管及び引き継ぎを行った。

コ)認定社会福祉士・認証認定機構

- ・本連盟より機構理事及び委員の派遣、本連盟推薦スーパーバイザーのスーパーバイザー登録(更新申請)の対応、会員校に対する認証申請に関する周知、申請協力を行った。
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼した。

サ)その他

- ・日本ソーシャルワークセンターに理事として参画した。(中村和彦会長)
- ・日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、全国福祉高等学校長会等に全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼した。
- ・「ソーシャルワーク研究」誌(編集：ソーシャルワーク研究編集委員会 刊行：中央法規出版)へ編集・周知等協力をした。
- ・東京都福祉人材対策推進運営協議会及び人材確保部会へ委員を派遣した。
- ・認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク主催、2025年度「学生によるオレンジリボン運動」への協力要請により、会員校に運動の協力を呼びかけた。
- ・「介護のしごと魅力発信等事業(事業間連携等事業)」にオブザーバーとして参画した。
- ・中央共同募金会の令和7年度(第79回)赤い羽根共同募金運動の周知を行った。
- ・独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度について、会員校教職員及び学生へ周知した。
- ・その他、国や関係団体等の情報を適宜会員等へ周知した。

④オンラインショップ

ア)オンラインショップの販売状況

- ・学生・個人ショップ売上 4,949,230円

- ・養成校・教員ショップ売上 1,751,750円

イ) 主な販売実績

- ・全国統一模擬試験過去問セット(2021年度版から2025年度版)：販売数：714セット
- ・ソゼミ2026：販売数：499セット
- ・過去年度版PointBook：販売数：227冊
- ・ハンドブック『ソーシャルワーカー！』：販売数：1,683部

⑤第38回社会・第28回精神国家試験に関する緊急情報交換会

- ・日時：2026年3月22日(日)17時～19時
- ・方法：zoomを使用したリアルタイムオンライン開催
- ・参加者数：91人
- ・参加費：無料

⑥その他

- ・本連盟の概要資料(和文・英文)の作成と更新

(6)業務の効率化等

① 事業による収益率を高める企画立案・業務遂行力の強化

② 事務局内のガバナンス・コンプライアンスの保持

③ オンライン研修システム「manaable(以下、マナブル)」の活用展開

- ・会員登録者数：3,657人(2023年度からの累計数)
- ・マナブル研修数：17講座(主な研修：社会・精神実習演習担当教員講習会／ソゼミ2026講義動画配信／全国社会福祉教育セミナー等)
- ・受講者数：2,562人
- ・講義動画の配信については、スマートフォン視聴を前提とした解像度で制作したことにより、配信コストを約2,000,000円／年削減する契約へと変更することができた。
- ・局員全員が研修設計やzoom操作を習得し、担当毎にマナブルで研修を組むことができた。

④ 5階事務スペースの賃貸借解約及びそれに必要な作業を行った。

⑤その他、事務局機能の強化に関する取り組み

(7)会員校への共益事業

①会員校関係業務(退会、会費徴収)

②全国の社会福祉士実習施設・機関情報(日本社会福祉士会協力)並びに精神保健福祉士実習指導者情報(日本精神保健福祉士協会連携事業)を会員へ提供

③会員校の成績優秀者に対して表彰を実施：希望のあった199校に発行

④会員校の入学式、卒業式に際する祝辞の送付

- ・卒業式祝辞：2026年2月2日発送

・入学式祝辞：2026年3月2日発送

⑤ソーシャルワーカー養成等に関する情報やソーシャルワークに関する研修、求人・就職、教員公募等の情報を会員へ提供(HPへ掲載、一斉メール送信)

⑥会員校情報の収集と集約(会員名簿、正会員(議決権行使者)の登録更新)、ブロックへの名簿情報提供

⑦会員数

日付	正会員			賛助会員 団体	賛助会員 個人
	入会	退会	会員数		
2025年4月1日	0校	0校	244校	1団体	0人
2026年3月31日	0校	2校	242校	1団体	0人

※ 2025年4月1日付で、学校統合による変更あり。